

硫化物電極材料の開発と今後の軟X線分光、 理論への期待

(産業技術総合研究所)竹内友成

各種正極材料の放電容量と平均電圧



硫黄系材料は次世代の高エネルギー密度型電池の正極材料候補の一つ。 単体硫黄(S)(理論容量~1670mAh/g)、硫化リチウム(Li₂S)(~1170mAh/g)は非常に高い理論容 量を持つが、多量の導電助剤(炭素等)が必要。 金属硫化物は比較的導電性が高く、電極中の活物質重量比を比較的高められる。

ZAIST

<u>S, Li₂Sを用いたリチウム二次電池(Li-S電池)</u>



- •S 理論容量 ~1670mAh/g Li_2S 理論容量 ~1170mAh/g
 - 安価(\$240/ton(2011))で資源的な制約が少ない(産出量6,800万ton(2010)日本は6%) →次世代高エネルギー密度型電池の電極材料候補の一つ。

•<u>問題点</u>

〇低電子伝導性

〇有機電解液を用いたセルでは充放電に伴い生成する多硫化リチウムが電解液に溶出。

・低電子伝導性の改善と多硫化リチウム溶出抑制の取組み

- ①炭素との複合化(多孔性カーボン、PAN、グラフェンなど、各種炭素材料に担持・複合化)
 (メソポーラスカーボン; X. Ji et al., Nat. Mater., 8, 500 (2009).)
 - (PAN;幸他、繊維学会誌、68, 179 (2012).
 - ; J. Guo et al., *J. Am. Chem. Soc.*, **135**, 763 (2013).
 - ; J. E. Trevey et al., *J. Electrochem. Soc.*, **159**, A1019 (2012).)

②金属との複合化(金属多硫化物の作製)

(TiS_xなど; A. Hayashi et al., *Chem. Lett.*, **41**, 886 (2012).) (NbS_xなど; A. Sakuda et al., *ECS Electrochem. Lett.*, **3**, A79 (2014).) (Li₈FeS₅など; T. Takeuchi et al., *J. Electrochem. Soc.*, **162**, A1745 (2015).) 我々の取り組み



<u>通電焼結法(SPS;Spark-Plasma-Sintering)を用いたLi₂S-C複合体の作製</u>



- •T. Takeuchi et al., J. Electrochem. Soc., 157, A1196 (2010).
- •T. Takeuchi et al., ECS Electrochem. Lett., 3, A31 (2014).
- •T. Takeuchi et al., *Solid State Ionics*, **262**, 138 (2014).

集電体



Li₂S-C複合体のSEM像



Li₂S粒子にC粒子が埋め込まれるよう に強固に接合し、10μm以上の凝集体 を形成。



•T. Takeuchi et al., J. Electrochem. Soc., 157, A1196 (2010).

•T. Takeuchi et al., ECS Electrochem. Lett., 3, A31 (2014).

•T. Takeuchi et al., *Solid State Ionics*, **262**, 138 (2014).









Li₂S:FeS=4:1mol 試料



S含有量から予想される容量(mAh/g) Li₂S:FeS=4:1mol 987 mAh/g

実測容量Q(mAh·g⁻¹)

	Q(1c)	Q(1d)	Q(10d)/Q(1d)
段階充放電後	570	730	0.72
通常の充放電	620	330	0.31

・充電容量(570mAh・g⁻¹)は、Li含有量から見積もった 値(790mAh・g⁻¹)の約72%。
・放電容量が著しく向上(330→730mAh・g⁻¹)。
・サイクル特性も著しく改善(10サイクル後の容量維持 率:31%→72%)。

•T. Takeuchi et al., J. Electrochem. Soc., 162, A1745 (2015).

国立研究開発法人產業技術総合研究所

<u>Li₈FeS₅の充放電後のXRD(有機電解液セル)</u>

Li₂S:FeS=4:1mol 試料



•T. Takeuchi et al., J. Electrochem. Soc., 162, A1745 (2015).

<u>Li₈FeS₅の充放電後のXANES(有機電解液セル)</u>

Li₂S:FeS=4:1mol 試料

AIST



国立研究開発法人 產業技術総合研究所

RDF from EXAFS after charge/discharge

Li₈FeS₅ sample



•T. Takeuchi et al., J. Electrochem. Soc., 162, A1745 (2015).

PAIST 🥏





•T. Takeuchi et al., *Solid State Ionics*, **288**, 199 (2016).





電解液:1M LiPF ₆ /(EC+DMC)
負極:Li
電流密度:46.7mA/g(0.04C)
電圧範囲:1.0-3.0V

S含有量から予想される容量(mAh・g-1)

	Q(S)
Li ₈ FePS ₇	1023
Li ₈ FeS ₅	987

実測容量Q(mAh•g⁻¹)

	Q(1c)	Q(1d)
Li ₈ FePS ₇ (no pre)	520	780
Li ₈ FeS ₅ (pre)	570	730
Li ₈ FeS ₅ (no pre)	620	330

Li₈FePS₇複合体は、段階充放電無しでLi₈FeS₅複合体と同程度の放電容量を示すことが分かった。

•T. Takeuchi et al., Solid State Ionics, 288, 199 (2016).



<u>XAFSを用いたLi₈FePS₇の構造・充放電機構解明</u>



•T. Takeuchi et al., Solid State Ionics, 288, 199 (2016).



今後の軟X線分光、理論への期待

○オペランド軟X線吸収分光

○第一原理計算等による理論的な検証

・XAFSスペクトルの解釈

・充放電機構の計算機シミュレーション

→材料探索へのフィードバック



立命館大学 太田俊明先生 中西康次先生 与儀千尋先生 小川雅裕先生 光原圭先生 京都大学 河口智也先生 尾原幸治先生 福田勝利先生 内本喜晴先生 福永俊晴先生 小久見善八先生 松原英一郎先生 産総研 蔭山博之様 作田敦様 栄部比夏里様 小林弘典様

本研究は、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託研究 (RISING、RISING-II、および先進・革新蓄電池材料評価技術開発)により実施 いたしました。関係各位に深く感謝いたします。